

平成 20 年度

(社) 日本技術士会東北支部 応用理学部会

定 期 総 会 資 料

日時：平成 20 年 5 月 9 日（金） 14 時 30 分～17 時 00 分

場所：(株)ユアテック 本社 3階 A 会議室

仙台市宮城野区榴岡4丁目 1-1

総会次第

1. 総会議事 14 時 30 分～15 時 30 分

(1) 開会宣言

(議長選出)

(2) 議事

①平成 19 年度活動報告

②平成 19 年度会計報告

③監査報告

④規約改正

⑤平成 20 年度活動計画 (案)

⑥平成 20 年度会計予算 (案)

(3) 閉会宣言

2. 特別講演 15 時 30 分～17 時 00 分

演題：森林土壌に対する酸性雨のインパクト

講演者：東北大学大学院工学研究科

附属災害制御研究センター 真野 明教授

3. 意見交換会 17 時 15～19 時 15 分

場所：土風炉 (仙台市宮城野区榴岡 2-2-12 1F 022-292-5775)

会費：4,000 円 (予定)

1. 平成 19 度活動報告

1.1 部会会員数

東北支部応用理学部会 正会員 68 名

(2008 年 3 月現在、技術士会 WEB 登録調べ)

1.2 活動報告

(1) 平成 19 度総会

日時：平成 19 年 5 月 11 日 (金)

場所：仙台市戦災復興記念館

特別講演： [視点を变えて] -化石・環境・防災-

宮城教育大学名誉教授 増田孝一郎 氏

参加者：17 名 (委任状 4 名含む、会員総数 67 名)

意見交換会：会費 4,000 円、レストラン トップ 14 名参加

(2) 見学会・・・植生態を地質からアプローチする

(早池峰山と薬師岳への巡検)

共催：岩手県技術士会

日時：平成 19 年 10 月 13 日 (土) 10 時～15 時

場所：岩手県花巻市 薬師岳

案内者：高橋大等氏 (岩手植物の会)

参加者：13 名

(3) 技術サロン：4 回開催・・・6 月～12 月の第 2 金曜日

①6/12 a) トンネルの施工事例 (中里俊行)

b) 応用理学部門を住处として (守屋資郎)

参加 5 名

②8/10 a) 静岡県地震防災センター見学報告 (今野隆彦)

b) 中越沖地震速報 (正木光一)

参加 11 名

③10/12 a) ダム地質解析の話題 (中村光作)

b) シミュレーションから見た人間の行動 (斎藤明)

参加 8 名

④12/7 a) 地すべり観測結果とその解釈 (樽石静)

b) がけ崩れハザードマップの試作 (今野隆彦)

参加 9 名

(4) 平成 19 年度 研修会

共催：技術情報部会、山形県技術士会

日時：平成 19 年 11 月 9 日(金)

場所：(株)ユアテック 本社 3 階 C 会議室

タイトル:民俗知を生かした地域づくりを考える

講師:田口洋美氏 (東北芸術工科大学教授)

参加者：14 名

意見交換会：6 名

(5) 震災対策技術展

日時：平成 19 年 10 月 31 日 (水) ～11 月 1 日(木)

場所：みやぎ産業交流センター

(夢メッセみやぎ)

・ 実行委員会への参加 (滝田、守屋、今野)

・ 展示ブースでの地震防災 WG の活動紹介

・

(6) 役員会

8回開催 (平成19年度 第1回 4/13, 第2回 5/11, 第3回 6/12, 第4回
8/10, 第5回 9/14, 第6回 10/12, 第7回 12/7, 第8回 2/8)

(7) 地震防災 WG

会議 4 回開催 (第 20 回 : 9/1, 第 21 回 : 10/12, 第 22 回 : 12/7, 第
23 回 : 02/08)

出前講座：東部市民センター (3 回, 参加者延 24 名)

石巻住吉町自主防災会 (2 回, 参加者延 51 名)

木町通市民センター (1 回, 参加者延 14 名)

野辺地社協 (1 回, 参加者延 25 名)

西多賀小学校 (1 回, 参加者 100 名)

福室市民センター (1 回, 参加者、 7 名)

(8) 仙台市若林区主催：地域防災リスクコミュニケーション会議

日時：平成 20 年 2 月 1 日 13 時 30 分～15 時 30 分

場所：若林区文化センター展示ホール

参加者：若林区内自主防災組織の関係者 200 名

基調講演を担当 守屋副部長、今野、黒墨、中里、本田副部長

(9) 東北福祉大学と締結した「減災力向上のための連携・協力に関する協約（パートナーシップ協約）に基く技術アドバイス；

平成 19 年 4 月 26 日（木）減災技術論 I の 講義担当（守屋副部長）

(10) 東北福祉大災害ボランティアセンター 地震・津波に強いまちづく実行委員会委員として参加（守屋副部長）

7 月、12 月、3 月

ほかに、子どもの減災力向上ワーキンググループに参加

(11) その他

東北福祉大―神戸学院大相互支援協定締結式に参加

日時：平成 20 年 3 月 11 日（火）13 時 30 分～14 時

場所：東北福祉大管理棟第 1 会議室

守屋副部長、今野

2. 平成19年度会計報告

応用理学部会 平成19年度 会計決算(案)

	H19年度予算	H19年度決算	対比
総収入	545,541	666,043	120,502
総支出	470,541	545,944	75,403
繰越金	75,000	120,099	45,099

【収入の部】

科目	H19年度予算	H19年度決算	対比	摘要	
H19年度繰越金	135,541	135,541	0		
支部交付金	100,000	100,000	0		
小計	235,541	235,541	0		
事業収入	総会	40,000	52,000	12,000	交流会費
	見学会	40,000	13,000	△ 27,000	13名参加, 参加費
	技術サロン	40,000	36,000	△ 4,000	4回開催, 会費1000円
	研修会	90,000	44,000	△ 46,000	1回のみ
	地震防災WG活動	0	80,400	80,400	講師謝礼ほか
	パンフレット印刷費	100,000	205,000	105,000	宮城県技術士会より10.5万円
雑収入	0	102	102		
小計	310,000	430,502	120,502		
総収入	545,541	666,043	120,502		

【支出の部】

科目	H19年度予算	H19年度決算	対比	摘要	
事業費	総会	80,000	91,400	11,400	会場費, 講師謝礼, 交流会費ほか
	見学会	35,000	13,940	△ 21,060	謝礼ほか
	技術サロン	50,000	40,210	△ 9,790	4回開催, 会場費ほか
	研修会	64,000	59,000	△ 5,000	1回のみ
	地震防災WG活動	0	45,099	45,099	交通費, 送料
	パンフレット印刷費	200,000	231,000	31,000	10.5万円分は宮城県技術士会で決済
	小計	429,000	480,649	51,649	
管理費	会議費	30,000	55,305	25,305	幹事会会場費
	通信費	2,000	0	△ 2,000	送料ほか
	事務雑費	1,000	1,200	200	
	予備費	8,541	8,790	249	慶弔費
	小計	41,541	65,295	23,754	
総支出	470,541	545,944	75,403		

注) 対比は予算を基準として示した。

対比 = (決算) - (予算) マイナスは△で表示

3. 監査報告

監 査 報 告 書

平成 19 年度の事業および会計を、帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、相違なく、適正に処理されていることを確認しました。

平成 20 月 4 月 日

(社) 日本技術士会東北支部 応用理学部会

監事

印

4. 規約改正

応用理学部会規約の改正：第4条

ただし、部会活動活性化のため、最長2期を限度とする。⇒

ただし、部会活動活性化のため、**部会長**は最長2期を限度とする。

太字を追加

第5条 5. 追加

5. 定時総会及び臨時総会は部会員をもって構成し、委任状等を含めて2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

5. 平成 20 年度 活動計画 (案)

①総会・特別講演：平成 20 年 5 月 9 日(金)14 時 30 分～17 時 00 分

総会 14 時 30 分～15 時 30 分

特別講演 15 時 30 分～17 時 00 分

意見交換会 17 時 15 分～19 時 15 分

特別講演：森林土壌に対する酸性雨のインパクト

東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター

真野 明教授

意見交換会：会費 4,000 円

②平成 20 年度見学会 平成 20 年 7 月中旬の土曜日

伊豆沼、長沼方面、講師は湖沼の研究者予定

③平成 20 年度研修会 平成 20 年 11 月

④役員会予定 平成 20 年 5 月 9 日(金), 6 月 13 日(金), 8 月 8 日(金)
9 月 12 日(金), 10 月 10 日(金), 11 月 14 日(金), 12 月
12 日(金), 2 月 14 日(金)
(太字は技術サロン開催日)

⑤技術サロン 平成 20 年 6 月, 8 月, 10 月, 12 月 4 回予定 CPD 対象
各月第 2 金曜日 18 時～ 宮城県婦人会館
会費 1000 円/回 軽食つき

⑥地震防災 WG

市民センターと連携して, 出前講座の継続実施。

他部会, 宮城県技術士会と連携して活動予定

パンフレット「地震から身を守る～マイマップのすすめ～」の印刷配布

⑦東北福祉大とのパートナーシップ協約

a) 防災ボランティアセンター

地震・津波につよいまちづくり実行委員会活動

守屋副部会長

b) 公開講座 減災技術論 I (H20 4/24) の講義 守屋副部会長

⑧応用理学部会専用 HP の開設と維持管理

独自ドメインの HP を開設し、部会活動の活性化を図る。

6. 平成20年度 会計予算 (案)

応用理学部会 平成20年度 会計予算(案)

	H20年度予算	H19年度決算	対比
総収入	680,099	666,043	△ 14,056
総支出	593,099	545,944	△ 47,155
繰越金	87,000	120,099	33,099

【収入の部】

科目	H20年度予算	H19年度決算	対比	摘 要	
H20年度繰越金	120,099	135,541	15,442		
支部交付金	100,000	100,000	0		
小計	220,099	235,541	15,442		
事業収入	総会	40,000	52,000	12,000	交流会費
	見学会	40,000	13,000	△ 27,000	13名参加, 参加費
	技術サロン	40,000	36,000	△ 4,000	4回開催、会費1000円
	研修会	90,000	44,000	△ 46,000	1回のみ
	地震防災WG活動	50,000	80,400	30,400	謝礼ほか
	パンフレット印刷費	200,000	205,000	5,000	宮城県技術士会より10万円
雑収入	0	102	102		
小計	460,000	430,502	△ 29,498		
総収入	680,099	666,043	△ 14,056		

【支出の部】

科目	H20年度予算	H19年度決算	対比	摘 要	
事業費	総会	80,000	91,400	11,400	会場費, 講師謝礼, 交流会費ほか
	見学会	35,000	13,940	△ 21,060	謝礼ほか
	技術サロン	50,000	40,210	△ 9,790	4回予定, 会場費ほか
	研修会	74,000	59,000	△ 15,000	1回のみ
	地震防災WG活動	50,000	45,099	△ 4,901	交通費ほか
	パンフレット印刷費	200,000	231,000	31,000	
	小計	489,000	480,649	△ 8,351	
管理費	会議費	60,000	55,305	△ 4,695	幹事会会場費
	通信費	35,000	0	△ 35,000	HP管理費(初期費用含む)
	事務雑費	2,000	1,200	△ 800	
	予備費	7,099	8,790	1,691	
	小計	104,099	65,295	△ 38,804	
総支出	593,099	545,944	△ 47,155		

以上

(社) 日本技術士会 東北支部 応用理学部会 規約 (案)

平成 15 年 4 月 11 日制定

平成 17 年 6 月 10 日改正

平成 18 年 5 月 12 日改正

平成 20 年 5 月 8 日改正

第 1 条 名 称

本部会は「社団法人 日本技術士会(以下、技術士会)東北支部 応用理学部会」(略称「東北応用理学部会」と称する。

第 2 条 目 的

本部会は、

- 1) 専門技術の観点から技術士会に協力する。
- 2) 技術士の職業倫理の確立と地位の向上を図る。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 部会員相互の親睦を図る。
- 5) 専門技術を通し地域社会へ貢献する。

こと等を目的とする。

第 3 条 部 会 員

部会は、応用理学部門に合格した技術士会会員および準会員をもって構成する。

第 4 条 役 員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1 名
副部会長	2 名
幹事	若干名
監事	1 名

本部会は顧問を置くことができる。顧問は、本部会活動の活発化および円滑な運営を図るため、第 7 条で規定する会議に出席し、意見を述べることができる。

役員任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部会活動活性化のため、部会長は最長 2 期を限度とする。

第 5 条 役員を選任

1. 部会長は、部会総会において選任し、支部長に報告する。
2. 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、総会に報告する。
3. 顧問は、役員会が推薦し、総会に報告する。
4. 監事は部会長が推薦し、総会で承認を得る。

第 6 条 役員の仕事

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北支部の役員会で部会に関する意見を述べるができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その仕事を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する(部会員の連絡事項を含む。)

4. 監事は、支部の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べることができる。

第7条 会議の種類

本部会の会議は、総会、役員会とする。

第8条 総 会

1. 総会は定期総会及び臨時総会とし、部会長が召集する。
2. 定期総会は、原則として支部総会前に開催する。
3. 臨時総会は、次の各号に該当する場合に開催する。
 - ①役員会において必要と認めた場合
 - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
 - ③前項の規定により臨時総会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに総会を招集しなければならない。
4. 総会の議長は部会長が務める。
5. 定時総会及び臨時総会は部会員をもって構成し、委任状等を含めて2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

第9条 総会の議事

1. 総会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を議決する。
 - ①前年度活動報告及び決算の承認に関する事項
 - ②年次活動計画及び予算の決定に関する事項
 - ③役員会において総会に付議する必要があると認めた事項
2. 総会の議事は、出席者の過半数をもって定める。

第10条 規約の変更

本規約の変更は、役員会の3分の2以上の同意を以って発議し、総会において出席した部会員の3分の2以上の同意を以って成立する。

第11条 役員会

1. 役員会は構成員の2分の1以上の出席を以って成立し、次の事項を審議する。
2. 役員会の議長は部会長が努める。ただし、都合で部会長の指名により一任された者が会議を推進することができる。
3. 役員会の内容は、その都度議事録を作成する。
4. 役員会に付議する事項は、部会の運営に関することを原則とする。

第12条 部会活動

部会活動は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

1. 本部会並びに他の部会との連携を図り、共通の課題に対する、討議、意見の交換及び行事の共催
2. 国、地方公共団体、民間等の国内の組織団体との技術交流並びに海外の科学技術関係の技術者との交流
3. 科学技術に関する調査並びに文献及び資料の収集
4. 科学技術に関する研修、講演会、見学会等の開催

- 5・専門技術により地域に貢献するため地方公共団体等からの相談・依頼があった場合業務を受託し行うことができる。
- 6．科学技術に関する情報の交換、新技術の修得及び意見交換等を目的とする行事の開催
- 7．部会員相互の親睦を図るための行事の開催
- 8．前各号に掲げるものの他、本部会の目的を達成するために必要な活動

第13条 会費等

年会費は当面の間、無料とし、各行事毎に参加費を徴収する。

第14条 事業年度

本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。